

わたり 議会だより

平成19年
2007
96号



写真撮るよー みんな集まれ!! (いちょうの実幼稚園)

3
月
定
例
会

- 19年度予算総額204億円〈予算審査質疑応答〉…… ④
- 可決やむをえず〈敬老祝金の減額 賛成多数〉…… ⑥
- 法の見直し等を要望〈国へ意見書を提出〉…… ⑧
- 町政のここが訊きたい〈9人が一般質問〉…… ⑩

最大の効果を

対前年度比
0.4%の減

19年度予算総額204億800万円を可決

3月定例会を2月26日から3月22日まで25日間の会期で開きました。

町から提出された議案等は41件で、そのうち平成19年度各会計の当初予算は、特別委員会を設置し審査しました。提出された議案は、慎重審議の結果すべて原案のとおり可決しました。

議会関係では、請願2件、陳情2件を採択したほか、条例・規則の改正案4件・意見書案5件を可決しました。一般質問では9人の議員が登壇し、町の考えを質しました。

依然として歳入厳しく

一般会計の歳入は、税源移譲による個人町民税の増加から自主財源の伸びはあるものの、所得譲与税の廃止や地価下落による固定資産税収入の伸び悩み、また法人町民税

も急激な増加は見込めないことから、財政運営上最も大切な町税収入は依然として大変厳しい状況にあります。さらには、地方特例交付金等の削減で、経常一般財源収入は全体的に伸びが見込めないことから、一般家庭の貯金にあたる財政調整基金等を取り崩しての予算編成となりました。

行革推進 歳出を抑える

一方の歳出は、昨年同様に経常経費の徹底した縮減、事務事業の見直し、投資的経費の削減に加え、19年度は運営費補助の10%削減、職員等旅費の日当を廃止するなど、行財政改革をさらに進めた予算編成となっています。

会 計 名		予 算 額	対前年比
一 般 会 計		8 7 億 5,1 0 0 万円	1.1 %
特 別 会 計	国民健康保健	3 5 億 4,7 1 9 万円	1 1.5 %
	国民保養センター	1 1 億 3,4 2 1 万円	△ 2 0.6 %
	奨学資金貸付	2,5 1 3 万円	△ 9.3 %
	公共下水道事業	1 5 億 7,6 9 9 万円	△ 7.9 %
	老人保健	2 5 億 8,2 5 6 万円	△ 2.0 %
	土地取得	5 2 7 万円	4.2 %
	介護保険	1 6 億 9,7 4 6 万円	4.8 %
	介護認定審査会	7 6 4 万円	—
企 業 会 計	水道事業		
	・収益的支出 ・資本的支出	8 億 4,4 3 8 万円 2 億 3,6 1 4 万円	△ 1.6 % △ 3 4.4 %

最小の経費と最善の努力で



最終日に任期満了前の最後の定例会にあたり
あいさつを述べる岩佐議長

総括質疑

予算審査を特別委員会に付託する前に3人が総括質疑を行いました。

新型交付税

町への影響は

鞠子幸則議員 国の「新型交付税」と「頑張る地方応援プログラム」は町の19年度予算にどう影響するのか。

増額を見込んでいる

企画財政課長 新型交付税制度は交付税算定の1割にあたる部分の算定を「人口1・面積10」の割合で算定するもので、本町では2,200万円程度増額の見込みです。

頑張る地方応援プログラムは内容が詳しく示されていませんが、交付税措置の期間は3年間であるため、対象となる事業があるか検討していきたいと思います。

初日に19年度の施政方針を述べる齋藤町長



削減した事業はあるか

佐藤 実議員 国からの補助金削減と地方交付税が減額される中、財源不足による新規事業の見送りや事業の削減はなかったか。

先送りはあるが削減はない

企画財政課長 亘理町総合発展計画にある事業で先送りしたものはありますが、削減はありません。なお、住民の生活に直接し関連する諸経費は可能な限り予算計上しています。

「いじめ」の現状は

星見みつ議員 中学校のスクールカウンセラー事業だが、カウンセリング(相談・助言)を必要とする生徒は何人くらいか。また、いじめの現状は。

関係者の努力により現在はない

学務課長 中学校全体で18年度の相談件数は、2月末現在で187件です。いじめについては昨年10月以降7件ありましたが、学校・保護者・カウンセラーの方々の努力により現在はありません。

予算審査 特別委員会



現地調査を行う委員

10会計すべて全員賛成

予算審査特別委員会は、平成19年度の一般会計、各種特別会計及び水道事業会計の計10件の予算案を審査するため、議長を除く全議員で構成された委員会であり、3月13日から20日まで書類審査・現地調査を行いました。

関係課長や担当者に出席を求め、質疑等を行い慎重に審査した結果、各種会計すべて全員賛成により「原案のとおり可決する」ことに決定するとともに、予算執行に当たっての要望書を提出しました。

ここでは一般会計及び国民保養センター特別会計審査の主な質疑を紹介します。

一般会計

問 乗合自動車さざんかの近隣市町への乗り入れの考えは。

答 企画財政課企画班長 近隣市町でもバスを運行しており、今後、広域運行も協議していきます。

問 運行方式は当初の計画通り「朝晩は路線巡回型、日中は戸口から戸口までのデマンド型」が最良だ。今の路線巡回を改善しつつ、デマンド導入に努めるべきではないか。

企画財政課企画班長 広域運行、デマンド型の運行等を含め検討委員会等で協議していきます。

問 防災行政無線が聞こえにくい等の苦情は。

答 総務課安全対策班長 聞こえにくい、また、うるさいとの両方あります。

問 難聴地域があるか調査するようだが。

答 総務課安全対策班長 設置後18年たち機器も傷み性能低下も考えられます。業者に調査を委託し、現況把握のうえ改善策を講じます。

問 保育所の入所者数は。

答 保健福祉課長 亘理保育所134名、鹿島保育所113名、吉田保育所88名、荒浜保育所75名、逢隈保育所115名、計525名です。

問 入所できない子供たちに対する考え方は。

答 保健福祉課長 一時保育で対応している状況です。

問 親からすれば、不平等感があるのでは。保健福祉課副班長 いろいろ思いはあるかと思

議会費 1億2,734万円の内訳をお知らせします

報酬	6,290万円	議員月額報酬（20人 ※4月までは22人）
給料	1,361万円	職員給料（3人）
職員手当等	2,729万円	議員期末手当、職員期末手当等
共済費	1,445万円	議員共済等負担金、職員共済負担金
報償費	1万円	議員研修時講師謝金等
旅費	293万円	議会費用弁償、視察調査旅費、職員旅費
交際費	75万円	議会としての慶弔費等
需用費	268万円	議会だより印刷製本費、事務用品・図書購入費
役務費	2万円	広告料等
委託料	87万円	会議録調整委託料
使用料及び賃借料	6万円	高速道路、駐車場料金
備品購入費	2万円	議場用マイク
負担金補助及び交付金	172万円	県町村議会議長会費、亘理地方町議会議長会費 亘理名取地区市町議会連絡協議会負担金

ますが、入所の受付期間終了後に入所判定会を開き、基準表に基づき点数を付け判定しているところです。

問 老人福祉センターの

答 老人福祉センターの

問 わたり温泉健康センター増築工事の内容は。

答 保健福祉課長 現施設の北口に玄関を設置します。なお、隣接の老人福祉センターの小部屋は保養センターの宿泊に利用していますが「わたり温泉島

問 新保健センターの基本構想はどこまで進むか。保健福祉課長 19年度では基本設計に入ります。

問 基本構想の案の段階から、住民に知らせ意見を聴く、いわゆるパブリックコメントを行う必要があるのではないか。

保健福祉課長 一般の方々を対象に公聴会を開きます。皆さんのご意見をいただくながら構想案をまとめ、次の段階の基本設計に進む考えです。

問 町内の26医院（歯科除く）のうち、町内在住の先生は何人か。

保健福祉課長 9人です。

問 26人中17人が町外在住では、町内の夜間救急医療は困難と考えるが、今後の対応は。

保健福祉課長 巨理郡医師会と山元町にある宮城病院で、緊急時に医師会の先生方に病床を提供するような体制づくりを進めています。なお住民の方々には地元で主治医を持つていただければと思います。医師会には主治医として緊急時には大きな

な病院の紹介等、円滑に対応していただくようお願いしているところです。

問 小児科と産科の充実については。

保健福祉課長 名取・岩沼・巨理・山元の2市2町で、岩沼医療圏に小児科、産科の医師派遣を要望しているところです。

問 就職等の雇用問題にどう取り組むのか。

産業観光課副班長 町長が町内の社員50人以上の企業を訪問し、巨理高校の生徒や町内出身者の雇用に配慮していただけるようお願いしており、19年度も引き続き企業訪問を行います。

問 県の教育委員会では1クラス35人以下の少人数学級への取り組みを進めているが、本町は導入するのか。

教育長 導入の際は町内の中学校一律にとの県の指導です。少人数学級では、これまでのように各クラスから少数の生徒を集めて指導する少人数指



着々と工事が進む「わたり温泉鳥の海」

国民保養センター特別会計

問 現在の保養センターは11月末閉館とのことだが、12月、1月は集客が見込める時期なのでは。

保養センター所長 新施設開業を来年2月に控え、解体作業等に約2か月かかる見通しです。また、はらこ飯のシーズンが終わる11月末までは営業したいと考えました。

問 新施設では、当初の計画のサウナを変更し岩盤浴にするようだが。

保養センター所長 健康・美容・いやしの面で岩盤浴への関心が高まっていると考え、利用者増も見込み、変更を提案しました。

問 源泉引上げポンプの交換だが、能力の大きいものにするのか。

産業観光課主事 ポンプは3年から5年で交換が必要で、温泉を有効活用し枯渇させぬよう、新設の浴場も現在の湯量で

問 衛生面は大丈夫か。

保養センター所長 保健所によると岩盤浴の規制強化等はなく、普通の浴場同様殺菌・清掃に努めれば問題ないと考えます。

予算執行にあたっての要望

国民保養センター「鳥の海荘」特別会計予算で、岩盤浴施設建設工事費を計上しているが、温泉施設（岩盤浴施設含む）の建設並びに運営にあたっては、衛生管理はもちろん、料金体系についても十分検討し事業を実施されるよう要望する。

敬老祝金の減額 賛成多数で可決

改正やむなし 進む財源不足 高齢者福祉の予算は増加傾向



敬老祝金及び特別敬老祝金

支給条例の一部を改正

提案理由 行財政改革を進める中での集中改革プランに基づき、祝金等の額を次のように改正するものです。

問 改正による削減額はいくらになるのか。

保健福祉課長 対象者199人分で、564万円の削減となります。

祝金

数え年 88歳	1万5千円 ↓ 1万円
数え年 90歳	2万5千円 ↓ なし
数え年 99歳	7万円 ↓ 3万円

特別祝金

数え年 100歳	30万円 ↓ 20万円
----------	-------------

問 集中改革プランによる見直しは、社会情勢や他市町村との均衡を考慮するとしている。今回どう判断したのか。

保健福祉課長 今後、敬老式典の招待者は増えていきますが、サービスは維持したい考えです。また、近隣市町の状況を勘案しても改正は妥当と考えます。

問 12年度に祝金を減額した際は、町で老人クラブ会長の会合に出向き、趣旨を説明し議会に提案している。今回はどうか。

保健福祉課長 老人クラブの意見は聞いておりませんが、今後周知等について話し合いをもち適切に対応していく考えです。

反対討論

鞠子幸則議員

敬老祝金等の支給対象者は第2次世界大戦を体験され、戦後は荒廃の中から今の社会を築いてきた本当に町民全体で敬意を表する方々だ。祝金の見直しは慎重にすべきであり、老人クラブ等関係団体から意見をよく聞くべきだ。以上反対する。

賛成討論

平間竹夫議員

地方交付税の削減で町の一般財源が減少する中、高齢化が進み支給対象者は増え、さらには介護保険の町の負担増、20年度からの後期高齢者医療制度の財政負担など、高齢者福祉の負担は増加傾向にあることから改正は妥当であり賛成する。

巨理町の「副町長」は1名

提案理由 法改正に伴い、こととなったため、巨理平成19年4月から助役に代えて町に副町長を置き、めるものです。

(全員賛成で可決)

条文を整理 助役に代わり「副町長」

収入役は廃止 「会計管理者」を置く

提案理由 法改正に伴い、を1人置くこととなった助役に代わり副町長を置くこと、また、収入役を廃止し新たに会計管理者

(全員賛成で可決)

社教関係各種委員会の見直し

調査審議は「社会教育委員」が一括で

提案理由 集中改革プランに基づき、これまでの社会教育に関する各種委員会を見直し、調査審

(全員賛成で可決)

減額支給していた「議員報酬」元通りに

「費用弁償」は減額して6000円に

趣旨 議員定数を2名削減の20名とすることから、18年4月から実施している議員報酬の減額支給の

(全員賛成で可決)

老人保健 特別会計 伸びる医療給付費に対応

平成18年度一般会計、国民健康保険特別会計、国民保養センター特別会計、公共下水道事業特別会計、老人保健特別会計、介護保険特別会計及び水道事業会計の補正予算をそれぞれ原案のとおり可決しました。

各会計とも主に事業費の確定に伴う精査を行い補正するものです。

一般会計 1,005万円を追加し

総額 94億1,246万円に

総務費

△238万円

衛生費

△1,494万円

民生費

3,177万円

土木費

△429万円

農林水産業費

48万円

消防費

398万円

教育費

△388万円

老人保健特別会計 1億5,808万円を追加

国民健康保険特別会計 5,365万円を減額

国民保養センター特別会計 90万円を追加

公共下水道事業特別会計 79万円を減額

土地取得特別会計 8万円を追加

介護保険特別会計 40万円を追加

水道事業会計 収益的收入 127万円を減額

資本的収入1,000万円を減額
支出1,000万円を減額

巨理地区行政事務組合の消防費負担金508万円の追加と、事業費確定に伴い精査し、減額するものです。

逢隈西部地区経営体育成基盤整備事業の負担金等です。

意見書

5件を可決 関係機関に実現を要望

リハビリテーション日数制限 の撤廃を求める意見書

平成18年の診療報酬改定でリハビリテーションの日数上限が設定されたが、障害や病状には個人差があり、リハビリが必

要な期間は異なる。

リハビリ無しでは生活機能が落ち、亡くなる患者もいる。障害をもつ患者は、日数の制限により

障害者自立支援法に関する意見書

障害者自立支援法に関し、法の不備や受入社会基盤の不備による問題が早急に解決されるよう次の事項を要望する。

- ・施設利用や居宅サービス等利用者負担の軽減。
- ・報酬単価切り下げや報酬日額化による施設の収入減の補てん。
- ・施設運営安定のため、報酬の日額計算方法を17年度以前に戻すこと。
- ・障害が重くなるほど負担増となる応益負担制度の見直し。
- ・障害特性に応じた判定ができる障害程度区分

寝たきりとなる場合も多い。短期間ではなく、数年をかけ機能向上する人もおり、リハビリ打ち切りで状態が悪化し、リハビリに戻りたくとも受け入れる医療機関がない状況もすでに生まれている。政府は、各患者の必要

となるよう判定項目等を見直すこと。

- ・一般企業の障害者就労の環境改善のため、企業側に担当者を配置するなど、実効性のある法整備をすること。

- ・小規模作業所の法内事業所移行及び入所施設の利用者も地域生活に安心して移れるよう配慮すること。また、地域活動支援センターの運営安定のため財源措置を講じること。

(全員賛成で可決)

提出先 宮城県知事、厚生労働大臣

に応じた十分なリハビリテーションを提供出来るよう、リハビリテーションの診療報酬上の日数制限の撤廃を要望する。

(全員賛成で可決)

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣

療養病床の廃止・削減計画の中止を求める意見書

医療制度改革関連法により、現在38万床ある療養病床が6割削減される。昨年7月からは療養病床の入院基本料が大幅に削減された。また、10月からは医療療養病床に入院する70歳以上の患者のうち医療の必要度が低いと見なされる者の食費・居住費が保険給付から外さ

れ、やむなく退院する方が多数出てくると予想される。

このままでは、療養病床をもつ医療機関は経営破綻し、医療や介護が受けられなくなる。

このような中、地域医療や介護に重要な役割を担う中小病院や有床診療所の入院機能の充実・拡大が求められており、地域住民が安心して医療や介護を受けられるよう、次の事項を要望する。

- ・療養病床の削減計画の中止。
- ・介護保険事業計画の早急な見直しと医療・介護・福祉制度や施設等の基盤の充実。

(全員賛成で可決)

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣



障害者の自立と社会参加を目指す「えいむ亘理」の納豆まんじゅう作り

請 願・陳 情

4 件を採択

- ・ 障害者自立支援法に関する請願書
- ・ リハビリテーション日数制限
の撤廃を求める陳情書
- ・ 国の療養病床の廃止・削減計画の
中止の意見書採択等を求める陳情書

3 件とも12月定例会で教育福祉常任委員会に審査を付託し、閉会後も継続審査していました。委員会からは、それぞれ「採択すべき」との報告がなされ、本会議で採決の結果、全員賛成で採択しました。

- ・ 「日豪 E P A（経済連携協定）交渉に
関する意見書」の提出を求める請願書

【請願者】 みやぎ亘理農業協同組合
代表理事組合長 岩佐國男 氏
【紹介議員】 渡辺泰一、安細隆之

産業建設常任委員会に審査を付託しました。委員会からは「採択すべき」との報告がなされ、本会議で採決の結果、全員賛成で採択しました。



牛肉等の関税撤廃は国の農業崩壊につながる

日豪 E P A 交渉に関する意見書

政府は、豪州との E P A（経済連携協定）交渉の開始に合意したが、交渉にあたり次の事項を要望する。

重要品目の

例外措置の確保

日本にとって、米・麦・牛肉・乳製品等の関税撤廃は、農業者の改革努力を無にし、食料自給率の

向上どころか国の農業崩壊につながることから、これら品目を外す等の例外措置を確保すること。

W T O 農業交渉での主張

に基づいた対応の確保
これまで日本は、十分な数の重要品目の確保とその柔軟な取扱い、上限関税の絶対阻止を主張し続けており、E P A 交渉

で従来の主張から譲歩すれば、これまでの交渉努力が無駄になる。他の国々からも同様の措置を求められかねず、W T O 農業交渉での主張に基づく適切な内容が確保されるよう交渉すること。

厳しい判断をもって

交渉に臨むこと

E P A 交渉では、期限

を定めず粘り強く交渉し、豪州側が日本の重要品目の柔軟性に十分配慮しない場合は、交渉中断も含め厳しい判断を行うこと。
（全員賛成で可決）

提出先 衆・参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房

長官、外務大臣、財務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣

北朝鮮拉致事件に関する

特定失踪者の真相究明を求める意見書

拉致問題解決を国の責務とし、政府による徹底調査と拉致被害者の帰国実現に努められよう次の事項を要望する。

・ 早坂勝男さん（加美町出身）を始めとする特定失踪者の失踪原因の真相究明。

・ 北朝鮮側に対し、すべての拉致被害者の安全を確保し、ただちに帰国させるよう求め、拉致の真相究明、拉致実行犯の引き渡しを求めること。
（全員賛成で可決）

提出先 衆・参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、内閣官房長官、国家公安

委員会委員長ほか

・ 北朝鮮による拉致の可能性が高い特定失踪者は速やかに拉致被害者の認定を行い、原状回復を求めること。

「一般質問」は町長に対し、事務の執行状況や将来に向けての考えなどを^{ただ}質すものです。

今回 9 名の議員が行いました。

- 高野 進議員・・・・・・・・・・ 11 P
・町の「がん対策」 課題は何か
わたり温泉鳥の海について（掲載外）
- 佐藤アヤ議員・・・・・・・・・・ 11 P
・妊婦の無料検診 増やしてはどうか
- 鞠子幸則議員・・・・・・・・・・ 12 P
・高額療養費「受領委任払い」の考えは
保育の充実について（掲載外）
所得税、住民税の障害者控除について（掲載外）
- 永浜紀次議員・・・・・・・・・・ 12 P
・庁舎建設事業は P F I の手法で
亘理町地域防災計画（震災計画）について（掲載外）
- 佐藤 實議員・・・・・・・・・・ 13 P
・町民の意見・提案 募る考えは
- 星見みつ議員・・・・・・・・・・ 13 P
・「退職金」町民への還元方法は
第 4 次総合発展計画と
当初予算額の整合性について（掲載外）
住基ネットの現況について（掲載外）
- 島田金一議員・・・・・・・・・・ 14 P
・町の各種審議会 統廃合の考えは
職員の研修と人事交流について（掲載外）
- 安藤美重子議員・・・・・・・・・・ 14 P
・鳴り砂浜の「保全・観光」どう考える
自主防災組織について（掲載外）
- 山田幸子議員・・・・・・・・・・ 15 P
・高齢者も交えた「ふれあい」の場に

町政の二一が訊きたい

町の「がん対策」課題は何か

検診の受診率 伸び悩んでいる



高野 進 議員



日頃の健康づくりが何より大切です。(運動サポーター養成講座)

問 当町の「がん対策」の現状、問題点、対応策及び実施するうえでの課題は何か。

町長 亘理町では、住民の方々を対象に、胃がん検診事業を始め、肺がん・子宮がん・大腸がん・前立腺がん・乳がん検診の6つの検診事業を実施しており、健康な生活を送っていただけるよう、がんの早期発見・早期治療を進めています。それぞれ受診率は伸び悩んでおり、このことが一番の課題です。がんの在宅療

養、緩和ケアの充実、がん対策を総合的・計画的に推進し、一層の充実強化を図っていく考えです。

問 がん対策推進条例を制定してはどうか。

町長 今後、国及び県において「がん対策推進基本計画」が策定されますので、亘理町においても国・県の計画を見据えたうえで慎重にそれらとの整合性を図り、検討していく考えです。

妊婦の無料検診 増やしてはどうか

県内の動向見極め 支援を充実させたい



佐藤アヤ 議員

問 国では少子化対策の一環として、19年度の関係予算を増額するようである。亘理町では無料の妊婦検診を2回行っているが、財政措置が拡充された場合、無料検診の回数を増やしてはどうか。

町長 国からは妊婦検診は5回程度公費負担で行うことが望ましいと示されました。今回大幅に地方交付税措置がされるとしてありますが、地方交付税の算定方法上において、無料の妊婦検診を増やす分、交付税が増額されるということではありませぬ。財政厳しい折、19年



マタニティマーク
妊産婦が交通機関等を利用する際に身に付けることで、周囲が配慮を示しやすくなるよう、厚生労働省で考案したもの

度も本町の交付税額は減となつてくる現状です。

今後、県内の妊婦検診の検査内容・回数等は統一の方向で協議されると思います。県内の動向を見極め、子育て支援策の充実を図ります。

問 子育て支援の拠点に空き店舗を活用してはどうか。

町長 次世代育成支援行動計画の中で、21年度までに1箇所整備するとう目標を掲げています。その中で空き店舗の活用も含め検討します。

高額療養費「受領委任払い」の考えは

社会福祉協議会の貸付制度 周知を図る

鞠子幸則 議員



問 町で高額療養費の受領委任払いを行う考えは。
町長 「高額療養費の受領委任払い」は70歳未満の方の「3割の窓口負担」を軽減するためだと思いますが、巨理町では従来から、高額な医療費の窓口負担に対応するために、

巨理町社会福祉協議会が行う高額療養費貸付制度がありますので、今後も周知を図り、制度を利用していただくよう進めていきたいと考えています。
問 所得に応じた自己負担限度額を示す認定書を交付する考えは。
町長 医療制度改革により、19年4月からは70歳未満の方の入院にかかる高額療養費は、医療機関での支払時における自己負担限度額が定められ、受診者の窓口負担の軽減が図られます。被保険者の世帯所得状況に応じた3段階で「限度額適用認定書」が交付され、支払い時にその認定書を提示することで、窓口の支払いが自己負担限度額だけになるものです。



高額療養費の貸付も行う巨理町社会福祉協議会

庁舎の建設事業はPFIの手法で

PFIには長所・短所あり 検討していく

永浜紀次 議員



問 役場庁舎は何年後の建設を予定しているのか。
町長 現在の財政状況を勘案しながら、景気の回復によって税の確保ができしだい、できるだけ早く建設したいと考えています。

問 庁舎建設資金はいくらか見込んでいるのか。
町長 平成13年に策定の公共ゾーンの基本構想の中では、建設費を約30億円と算出しましたが、5年以上過ぎた現在の状況下において、13年度の計画が適当かどうか、多

くなるか少なくなるかはまだ算定はしていませんが、相応なずれが生じるのではないかと思います。
問 財政負担軽減等の観点から、建設・維持管理・運営等に民間企業の力を活用するPFI手法を勧める。PFI導入の検討委員会を立ち上げてはどうか。
町長 PFIには長所と短所があります。導入の検討委員会について、あるいは企画調整会議で検討を加えていきたいと考えています。



昭和38年に建てられた役場本庁舎

町民の意見・提案 募る考えは

原案を公表 意見を広く求めたい



佐藤 實議員

行政改革に関し伺う。

問 指定管理者制度の活用、また進捗状況は。

町長 制度を導入した施設はフィッシャリーナの10施設です。他の「公の施設」も、今後導入を前提に検討していきます。

問 町民の手によるまちづくりをどう推進する。

町長 町民・行政が役割を認識し相互理解を深めながら協働のまちづくりに取り組む必要があります。現在、公募を含む10名の委員で構成する「亘理町まちづくり推進会議」

において「まちづくり基本条例」を検討しており、町民のまちづくりへの参画と協働をどう築くか、仕組みや手続きはどうしたらよいか協議を進めているところです。

問 行政全般に町民の提案や意見を求めることについて。

町長 これまでも広報・公聴事業は進めてきましたが、今後は、原案を公表して町民から広く意見や提案を求める「パブリックコメント」を導入し、行政への住民参画・協働を促進していく考えです。



荒浜漁港フィッシャリーナ

「退職金」町民への還元方法は

「公約」とは違う 自ら判断し決める

星見みつ議員



問 町長は当選された際、町民の前で退職金は町民のため還元するといわれた。これは町長の準公約と考えるが、その還元方法を伺う。

町長 「準公約」という言葉があるかどうかわかりませんが、まずもって私は公約としては掲げておりません。

そもそも公約とは、自らの意思に基づいて定めるものであり、ほかの方が勝手に公約と決めつけるものではないと考えま



答弁する齋藤町長

す。したがって、質問は私の選挙公約として掲げたものではありませんので、答弁を差し控えます。

再質問 公約ではなくとも、大衆の前で言われたことは覚えているのか。こうした場合の方法はどのように考えているか。
町長 これらの内容については自らの判断で決めるものと考えております。

町の各種審議会 統廃合の考えは

内容を精査 縮小・統合で効率化を図る

島田金一 議員



問 町の各種審議会等の数・委員数・任期は適正か。委員の重任や選び方、統廃合の考えを伺う。

町長 審議会等の数は36、委員の数は519名、任期は2年から4年です。法により置く必要がある審議会等は、教育委員会・

選挙管理委員会・農業委員会・固定資産評価審査委員会等があります。

町民との協働のまちづくりのためには、審議会等は必要と考えます。町の集中改革プランに基づき、その審議会の設置目的・役割・必要性等を精査し活動実態を考えたいので、縮小・統合等を行い効率化に努めます。また、委員の重複登用は必要最小限にとどめ、一般公募を推進し、女性・若人の積極的な登用を進めていきます。

問 審議会等への専門家の参加や行政の課題について大学や研究機関に調査研究を委託する考えは。

町長 今後、専門性が求められる場合も想定されますので検討します。

まちづくり基本条例の素案作成にも参画する「まちづくり推進会議」のようす



鳴り砂浜の「保全・観光」どう考える

恵まれた自然環境 PRしたい

安藤美重子 議員



問 吉田浜海岸で「鳴り砂」が確認されたが、鳴り砂海岸をどう保全していくのか。

町長 「国内最大級の鳴り砂浜」という貴重な環境資源の保存について、仙台湾鳴り砂研究会の早川氏から指導をいただきました。鳴り砂浜が鳴るために町ができることとして「ごみの少ない砂浜づくり」がありますので、町民の方々の協力のもと、清掃活動を継続的に実施していく考えです。

問 観光の目玉になると考えるがどうか。

町長 鳥の海周辺の散策コースとして考えられますが、ハード面の整備は控え、鳴り砂のある自然環境に恵まれた町としてPRに努めていきます。

問 砂浜を利用したスポーツ振興の考えは。

教育長 ビーチバレーボール等が挙げられますが、保全第一と考えており、散策しながら鳴り砂と美しい景色を楽しんでいただきたいと考えます。



鳴り砂が確認された吉田浜海岸の一斉清掃でゴミを拾う参加者

高齢者を交えた「ふれあい」の場に 地域ボランティアに積極的な参加を



山田幸子 議員



高齢者もボランティアで参加「放課後楽校インわたり」

問 文部科学省の子育て支援の一環として、各学校では放課後の児童生徒の「居場所づくり」事業を行っていると思われるが、各学校での取り組みは、また、その事業に地域の高齢者とのふれあいを加える考えはあるか。

答 文部科学省の子育て支援の一環として、各学校では放課後の児童生徒の「居場所づくり」事業を行っている。地域こども教室として、毎週木曜日に「放課後楽校インわたり」を開催しています。1年生から6年生までの50名を対象に小学校体育館で行っていますが、ここでは指導員のほか地域ボランティアの協力をいただいています。高齢者の方もボランティアとして積極的に参加していただき、ふれあいを大切にしていきたいと思っています。

ご協力ありがとうございました

3月定例会の 傍聴者アンケートを紹介します。

傍聴者数	13人
アンケート回答者数	2人
アンケート回答率	15%

① 議会傍聴に来られた動機は

- ・ 区長会で。
- ・ 質問通告内容について、直接町の考え方を知りたい。

② 議会を傍聴した感想は

- ・ 質問者は事前に調査等勉強していると思うが、質問は論点を整理して簡潔に。（傍聴者にはわかりにくい。同僚議員にはわかりと思うが…）政治家なので多少の示威的な言動は理解するとしても。

③ あなたが議会（議員）に望むことは

- ・ 一部の議員はしっかりやっていると思うが全般的に突っ込み不足。「町長の考えが聞きたい…」が多いようだ。議員としての提案を打ち出してほしい。
- ・ 町民の代表としてよく勉強されていると思う。活躍を期待します。

④ その他、町議会に関するご意見・ご要望

- ・ 議会傍聴は非常によい制度です。今後も開かれた議会として、町民に積極的な傍聴を働きかけてほしい。

調査報告と町への提言

委員会所管事務調査

立地条件生かし 工業団地の開拓早急に

産業建設常任委員会

巨理ICの開通や常磐自動車道の整備等から本町の工業発展の潜在能力が高まってきている。工業は地域経済活性化の原動力でもあり、企業の事業内容・従業員数・今後

の事業規模拡大等について調査した。

株式会社佐藤製線所は、昭和21年創業、昭和25年に会社設立。くぎ・溶接金網・鉄線等を製造。従業員は臨時も含め62名、

内巨理町在住は35名。事業規模拡大の計画があり、町に対し面積7×8畧の用地取得の要望あり。積水フィロム株式会社仙台工場は、平成7年操業開始。包装材・建築工業材・農業資材を製造。従業員は派遣社員も含め

155名、内巨理町在住は62名。当面、事業規模拡大はないとのこと、工場拡張の場合も約7畧の現有地に対応できるとしている。

株式会社ケーヒンワタリは、平成9年操業開始、ケーヒン角田の子会社。大手自動車メーカーの部品を製造。従業員は351名、内巨理町在住は111名。ほかに派遣110名、請負150名。工場増築は今年6月までに

結論を出したいとのこと。いずれの事業所も地元の雇用確保など地域経済に大きく貢献されている。町は立地条件を生かした工業団地開拓に取り組むべきであり、特に高屋地区への立地には、町民の理解と町の財政状況を考慮し、早急な取り組みが必要である。なお、工場誘致の際は、企業に対し地元採用と安定した労働条件の確保を要望することが必要と考える。

行政評価制度は「意識改革」にも有効

総務常任委員会

本町が導入する「行政評価制度」は、政策や事務事業を有効性・経済性等さまざまな側面から評価し改善を図るものだが、課題について先進地を調査した。

岩手県北上市では全事務事業の内容・対象・目的・事業量を「業務棚卸表」、全職員の業務状況は「業務量算定表」、事務



株式会社佐藤製線所で説明を受ける委員



北上市で説明を受ける委員

議会の動き

1 / 12	議会広報調査特別委員会
1 / 15	議会運営委員会、全員協議会
1 / 17	産業建設常任委員会
1 / 18	議会広報調査特別委員会
1 / 19	県町村議会議長会 議員講座
1 / 22	亘理名取地区市町議会連絡協議会 議員研修会
1 / 24	教育福祉常任委員会、全員協議会
1 / 29	J R 東日本水戸支社へ常磐線の整備促進要望
2 / 2	J R 東日本仙台支社へ常磐線の整備促進要望
2 / 5	教育福祉常任委員会
2 / 9	総務常任委員会
2 / 13	産業建設常任委員会
2 / 14	教育福祉常任委員会
2 / 15	県町村議会議長会定期総会
2 / 23	議会運営委員会、全員協議会
2 / 26	第27回亘理町議会定例会
3 / 22	

事業別の総経費は「事業費算定表」をそれぞれ作成し把握している。行政評価は有効で、部局間の政策の議論・調整や情報の共有化が図られ、各職員が業務を通して未来像と組織目標を具体的に考え始めたことである。

秋田県鹿角市では外部評価として政策アンケートを実施し、内部評価として施策評価シートを作成している。また、これらの取り組みを総括する組織として市民からなる行政評価市民会議を設けている。制度導入の効果として「市民参加の拡大」「情報公開の拡大」「事業過程の明確化」が図られたことである。

行政評価制度は職員の意識改革につながっているという点においても有効である。取り組み方法は自治体により異なるが、運用していく中で本町に合う形のシステムをつくりあげ、目的を達成されるよう望むものである。

議員辞職のお知らせ

次の議員から辞職願が提出されました。定例会中に提出されたものは本会議において、また、閉会中に提出されたものは議長において、それぞれ辞職を許可しました。

森 俊 博 議員（平成19年3月28日付）
 齋 藤 勝 雄 議員（平成19年3月31日付）
 黒 崎 敏 治 議員（平成19年3月31日付）

お詫びと訂正

95号3頁「人権擁護委員」のお名前に字の誤りがありました。「遠山雅彦さん」は正しくは「遠山正彦さん」です。ここに訂正し、謹んでお詫び申し上げます。

私もひとこと

町政を見守りたい ～議会を傍聴して～



いちみや よしき
一宮 嘉輝 さん
(中泉)

地元議員の活動を知る機会がやつと巡ってききました。

きっかけは平成17年度 亘理町逢隈公民館主催事業「ヘルシー逢隈学園」講座です。宮城県議会議場を移動研修で見学しました。平成18年度はぜひ

亘理町議会を傍聴したいと思っておりましたらカリキュラムにあり実現しました。私を含めほとんどの受講生は傍聴したことがないということでした。

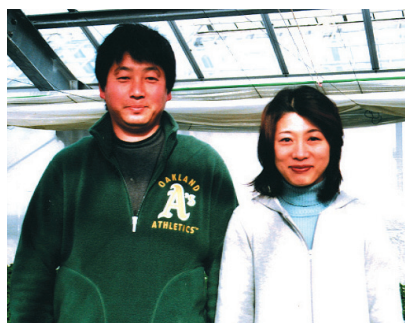
参加人数の関係で12月9日、10日の2班に分かれて傍聴しました。亘理町として初めて休日議会を開催とのこと。

事前に町民に周知されていたこともあり、傍聴席

は満席で、傍聴席に座れない町民のために和室にテレビモニターを準備するなど議会事務局も大変だったのではと察しました。

リタイアして3年、現役時代は一組織人として転勤を重ね、11市町村を見てきました。

これから一町民として、地域の方々とどう接していくか？亘理町をより理解するうえで、町政を見守りたいと思っています。幸い接した人々は思いやりがあり、亘理ならではの厚い人情に触れることができました。



加藤さんご夫妻

新品種にチャレンジ

加藤憲一さん・由樹子さん(蕨)

母の日のポットカーネーション、冬のシクラメンをメインに一年を通して家族みんなで鉢花を栽培する加藤さん。現在は新しい品種ペラルゴニュームを栽培しています。

原油高の影響で資材等が値上がりし、経営的には厳しい状況ながらも、お花屋さんや消費者の方々に「加藤さんのお花が一番ね」と言ってもらえるよう日々努力を重ね、これからも新品種に挑戦していきたいとのこと。

これからも新品種への挑戦がんばってください。

おらほの チャレンジ



きれいに花が咲き始めたペラルゴニューム

編集後記

暖冬の影響で桜の開花も一段と早く、新年度がスタートいたしました。希望に胸膨らませ出発なさる方々のご活躍をご期待申し上げます。

さて、亘理の宝がまた一つ増えました。国内最大級の「鳴り砂浜」大切な環境資源をみんなで守っていききたいものですね。今の広報委員になって早2年、96号が最後の編集となりました。ご寄稿に心から御礼申し上げます。読者に感謝申し上げます。次号から新しい委員による議会だよりとなります。どうぞご期待ください。

議会広報調査特別委員会
委員長 永 浜 紀 次
副委員長 安 藤 美 重 子
委員 佐 藤 ア ヤ
" 安 田 重 隆
" 安 田 金 一
" 島 田 金 一

議会を傍聴しませんか!! 初議会は5月6日のみほり